

	号外	定価 1部2円	参議院議員選挙も中盤へ。選挙区「横沢たかのり」・比例区・「吉田ただとも」を家族・友人に広げよう！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

7.5現業統一闘争(第1波)

現場力活かす現業職の拡充を！

現業独自要求書提出・人事課長の見解迫る

=農林・県土企画室／管財課にも要請書提出=

7月5日、県職労現業評議会（議長・山口耕司 管財課分会）は、2019年度現業評議会の独自要求書を佐藤人事課長に提出し、現業職の完全補充、賃金改善策に関する基本姿勢を質すため交渉を行った。交渉結果は次のとおり。

【交渉概要】

①**運転技士の補充**に関し、佐藤人事課長は「管財課・県土整備部において適正な体制確保を検討してきた。現在の課題や業務の状況を把握して連携して対応」との姿勢にとどまった。交渉団から、**県庁管財課の運転技士**が2001年の集中管理時（23人）以降、退職不補充が続き、2019年度から16人体制となり、**運転距離が増え職員負担が増すばかりか、各課の運転業務の要望に応えられず、新規補充が不可欠なこと、土木部運転技士も確実な新規職員の補充を求めた。**

②**技能員の増員**に関しては、「退職補充のため継続して新規採用を行ってきた。主管部から職場状況や業務実態を聞き、適切に対応」との姿勢であったことから、**技能員配置がギリギリの体制であり、年次休暇取得が困難、設備老朽化が原因の公務災害等も発生しており、人員増と執務環境改善が必要と訴えた。**

③**賃金改善**に関し、「勤勉手当の運用上の工夫は再任用と同様の人事評価制度の枠組みが考えられる」、現業職特有の課題や一定の機会均等が必要との考えには「**高齢層職員に留意する。運用面では各部局の上位成績者枠に関し、部局と連携して対応を検討**」としたが、評価の透明性や機会均等の観点で懸念が払しょくされていないことから、交渉継続とした。

山口議長から「人事評価は現業になじまず賃金改善の観点から早急に改善を」・「現業の新規採用での補充を」と訴え、秋の現業闘争第2波での前進回答を求め、交渉を終了した（併せて、関係主管課にも要請）。現業評は、第2波交渉に向け取り組みを強化していく。



要求書を手交する山口議長（左）



職場実態を訴える現業評交渉団



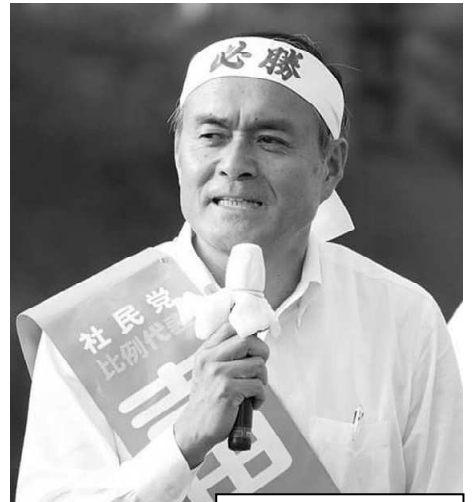
回答する佐藤人事課長

このままでは 私たち声を届ける政党がなくなる!?

比例区 吉田ただとも を家族・友人・知人に紹介しよう

参院選も中盤戦に。「吉田ただとも」候補は九州各地を遊説し、「憲法に自衛隊を明記する改憲ではなく、憲法を守らず平和を脅かす安倍政権を変えることが必要」、「安心して働き続けられる労働法制の改善、社会保障・セーフティネットの充実を」、「消費増税を止めさせ、富裕層への課税の強化と防衛費の削減を」と政策を熱く訴えている。

しかし、選挙戦の情勢は厳しく、平和憲法を守り、働く者の声を政治に反映してきた『社民党』も存続の危機を迎える。社民党が政党要件を喪失すれば、私たちの声を届ける政党を失い、政治に反映できなくなる。「吉田ただとも」の押上げが勝利のカギ。「吉田ただとも」への支援の輪を広げていこう。



吉田ただとも候補

社民党の政策浸透を！7.9『政談演説会』開催

7月9日、岩手教育会館で社民党政談演説会が開催。社民党全国連合の吉川はじめ幹事長が年金制度改善、消費増税阻止・富裕層への増税強化による所得再分配の改善等の社民党の政策を説明し、そのうえで、



吉川はじめ社民党幹事長／選挙区「横沢たかのり」とポーズ

「戦争の危機が現実味を帯びる中、

平和がかかった選挙であり、平和憲法を守り抜く正念場」、「社民党は働く人の声なき声を政治に反映してきた。次の世代のため社民党が必要」と訴え、比例区・「吉田ただとも」の支持拡大を訴えた。

併せて、選挙区・「横沢たかのり」さんも「生活者・働く人の声を国政に届ける、働く人の目線からの政治の実現と平和憲法を守っていく」と政策を訴え、支時を訴えた。

岩手選挙区 1回目の投票

全国比例区 2回目の投票

横沢たかのり

吉田ただとも

注目の野党統一候補！「吉田ただとも」とフルネームで投票を！

滝沢市議選 日向ゆうこ 推薦決定

県職労は、来たる7月14日告示・21日投開票の滝沢市議会議員選挙において、「日向（ひなた）ゆうこ」（62歳・無所属・現1期）を推薦決定し、同氏の必勝に向けて組合員等への支持浸透に全力を挙げる。「こども達に誇れる地域づくりをめざす」、「憲法を守り、くらしに活かす市政の実現」を公約に掲げる。

